

報 告 書

令和元年10月1日

座間市議会議長

上 沢 本 尚 殿

公明党 伊 藤 多 華

次のとおり報告します。

- 1 視察日時 令和元年8月6日（火） 午後2時00分～午後3時00分
- 2 視 察 先 相模原市
- 3 視察項目 消防の救急体制について
- 4 概 要 別紙のとおり

令和元年10月1日

座間市議会議長

上沢 本尚 殿

公明党

伊藤多華

視察所感

総務省消防庁は、「救急出動件数の増加や、連続出動により救急活動時間の延伸により、十分な食事時間や休憩時間が取れないケースがある。又、救急隊に求められる業務は、救急出動以外にも多岐にわたり、今後も高齢化の進展に伴い、救急需要が増え続けることが予想されている中、救急隊員の心身の疲労回復、事故の防止等の観点から、適正な労務管理について検討する。」として、「日勤救急隊」の運用をあげております。

相模原市消防局では、平成31年4月2日から市の中心部である相模原消防署本署に平日の午前8時30分から午後5時15分までの時間帯に出場する「日勤救急隊」を1隊創設しました。日勤救急隊には女性職員2名を含む6名が所属し、女性職員は、勤務時間が日勤時間帯に限定されているので、育児休業直後や育児中などの理由で交代制勤務（24時間勤務）をすることが困難な職員でも、働きやすい環境だと感じていると伺いました。

女性職員の中には救急救命士の有資格者もおり、日勤救急隊の創設によって、女性の活躍の幅が広がっていくのではないかと期待をされておりました。

育児や介護などで現場を離れた隊員が復帰したいと願っても、24時間勤務が高い壁になっているとも伺っており、今後、このような取り組みが広がれば、隊員の働き方改革にもつながると考えます。